

科目名	フィジカルアセスメント		時期	時間	単位	
担当教員	看護師として5年以上の実務経験を有する専任教員		1年次	前期・後期	30時間	1単位
科目設定理由	<p>少子高齢化や疾病構造の変化、医療の高度化に伴い、医療や看護を取り巻く社会状況は著しく変化してきている。また、在宅医療の基盤整備が促進され看護師の活躍する場も拡大し、より複雑で高度な医療を受ける患者が増加している。そのため、看護師には、看護の対象である患者を正しく「診る」ことのできる能力が必要不可欠となる。そこで、実際の患者の状態をリアルに表現できるハイブリッドシミュレータを用いて患者の病状や治療の経過に応じて身体状況の変化を予測し、病態に関連したポイントを重点的に観察することのできる正しい知識と技術、判断力を養うため当該科目を設定した。</p>					
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 フィジカルアセスメントの概念と目的と必要性を理解できる 2 バイタルサイン測定、身体計測の必要性を理解し正確な測定の技術が修得できる 3 系統的フィジカルアセスメントを理解できる 4 系統別フィジカルイグザミネーションが実施できる 					
修得する看護技術項目	No. 50 バイタルサイン測定 No. 51 身体計測 No. 52 フィジカルアセスメント					
授 業 計 画						
回数	項目	内 容			備 考	
1～2	身体計測	<ol style="list-style-type: none"> 1 ヘルスアセスメントとフィジカルアセスメント 2 身体計測の基礎知識と実際 <ol style="list-style-type: none"> (1) 身長 (2) 体重 (3) 皮下脂肪厚 (4) 腹囲 			講義 演習 No. 51	
3～8	バイタルサイン測定	<ol style="list-style-type: none"> 1 バイタルサインの観察とアセスメント <ol style="list-style-type: none"> (1) 体温 (2) 脈拍 (3) 呼吸 (4) 血圧 (5) 意識 2 バイタルサイン測定の技術 <ol style="list-style-type: none"> (1) 体温測定 (2) 脈拍測定 (3) 呼吸測定 (4) 血圧測定 			講義 演習 No. 50	
9～14	系統別フィジカルアセスメント	<ol style="list-style-type: none"> 1 フィジカルアセスメントにおける基本技術 <ol style="list-style-type: none"> (1) 問診 (2) 視診 (3) 触診 (4) 聴診 (5) 打診 1 呼吸系のフィジカルアセスメント 2 循環系のフィジカルアセスメント 3 消化系のフィジカルアセスメント 4 感覚系のフィジカルアセスメント 5 運動系フィジカルアセスメント 6 中枢神経系フィジカルアセスメント 7 フィジカルアセスメントの活用 			講義 演習 No. 52	
15	試験	まとめ				
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術 I	有田 清子 他		医学書院		
	フィジカルアセスメントガイドブック	山内 豊明		医学書院		
参考図書・資料等	看護がみえるvol. 3 フィジカルアセスメント	医療情報科学研究所		メディックメディア		
	根拠と急変対応から見た フィジカルアセスメント	清村 紀子 他		医学書院		
評価方法	技術試験、筆記試験、演習への取り組み、課題レポートなどから総合的に評価する					